

会 議 録

会議名 (審議会等名)		平成30年度 第3回 相模原市下水道事業審議会				
事務局 (担当課)		下水道経営課 電話042-707-1840(直通)				
開催日時		平成30年12月3日(月) 午後2時~午後4時10分				
開催場所		相模原市立環境情報センター2階 学習室				
出席者	委員	12人(別紙のとおり)				
	その他	0人				
	事務局	13人(下水道部長、下水道経営課長、下水道料金課長、下水道保全課長、下水道整備課長、津久井下水道事務所長 他7人)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由						
会議次第		1 開会 2 議題 (1) 専門部会からの中間報告について (2) 相模原市下水道ビジョンの改定について (3) その他				

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。(は委員の発言、 は事務局の発言)

1 開会

2 議題

(1) 専門部会からの中間報告について

<事務局から資料1に基づき説明を行った後、質疑応答が行われた。>

流域負担金の伸び率2%とは、金額にしてどの程度のものか。

約6千万円であり、使用料の対象世帯数を30万世帯として、単純に1世帯あたりとすると概ね年間200円程度である。

負担の規模感を表す指標としては一般市民の方にもわかりやすいものなので、参考にさせていただきたい。

下水道料金の値上げにも繋がり、市民生活にも影響があることを念頭に、県と協議していただきたい。

○ 将来的な下水道施設の老朽化に備え、当初から資金の積み立て等を行っていたのか。

行っていない。

利益のある時期に少しずつ備えることも必要ではないか。

事業費を平準化する手法としては、あらかじめ貯えを行うのではなく、市債等により対応することが多い。

(2) 相模原市下水道ビジョンの改定について

<事務局から資料2に基づき説明を行った後、質疑応答が行われた。>

BODとはどのようなものか。

○ 水質に関する「汚れ」の指標である。汚水中に含まれる微生物を5日間培養し、どれだけ酸素を消費するかを数値化するもので、数値が高いほど汚れが強く、逆に低ければきれいな水と言える。

基本的に策定した後の見直しは行わないものであるが、今回は上位の計画である総合計画の改定があるので、同時に見直しを行うということか。

現行の下水道ビジョンは10年間の計画期間で、既に策定から7年間の経過し

たこともあり、社会経済情勢の変化や新たな課題などへの対応のため、今回見直しを行うものである。なお、同時に策定する「経営戦略」については、より具体的な実施計画となるので、策定後も柔軟に見直しを行っていく予定としている。

管渠の耐震化工事とは、具体的にどのようなものか。

震度7程度の地震に対して、排水機能を確保できる程度の管渠等を作っていく工事である。緊急輸送路の下等を中心に、年間4件から5件程度の工事を予定している。

改定後の下水道ビジョンのめざす姿を20年後に設定することだが、一般的な感覚として、20年後の未来を見通すことは困難に感じる。現行の下水道ビジョンが10年間の計画期間だったのに対し、今回はなぜ20年後なのか。

まず20年後の本市下水道のあるべき姿を決め、その実現に向けて実施していく具体的な内容については、10年単位で計画していく予定である。

大地震等の自然災害の発生なども、20年間の想定に含まれているのか。

- 想定としては当然に含まれると考えるが、実際に自然災害等があった場合は、下水道使用料の中で対応するリスクの範囲外になるのではないか。

お見込みのとおりである。

市が策定する総合計画などの内容について、国や県から制約を受けることはあるのか。

国や県が直接関与することはない。

- 国や県から計画のひな型が提示されることもあるが、各市は其中で個性を發揮しているものとする。

現行の下水道ビジョンで達成できなかった内容と、それを新しい下水道ビジョンにどのように位置づけるのかなど、説明を工夫しないと、新旧下水道ビジョンの比較に関する議論は難しい。

- 達成度を、○×などの記号を使って客観的に評価してはどうか。
- 基本方針レベルでの評価は難しいと思うが、重点施策レベルなら可能と思われるので、一定程度の自己評価は必要である。

現行の下水道ビジョンには、取組の進捗度を客観的に評価・検証する項目が無く、新ビジョン策定に向けての課題であると認識している。

現行の下水道ビジョンが策定された当時は、行政計画に定量的な指標を設定することは一般的ではなかった。

今回は、現行下水道ビジョンの項目が新ビジョンにおけるどの項目に引き継がれるかを概略的にお示しさせていただきました。今後、新下水道ビジョンの具体的な内容を審議いただくに当たっては、客観的な視点で現行下水道ビジョンの進捗等を説明していく必要があると考えている。

下水道ビジョンについて、いろいろな説明を受けたが、本審議会で何を決めていけばよいのかが不明である。

本日は策定にあたっての大きなフレームを説明させていただく機会と考えており、今回で結論をいただくことは想定していなかったが、ご指摘を踏まえ、議論の論点を明確にできるよう、次回以降改善していきたい。

(3) その他

特になし

以 上

相模原市下水道事業審議会委員出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	出 欠 席	備 考
1	おちあい かつじ 落合 勝司	相模原市自治会連合会（緑区）	欠席	
2	たけだ みきお 竹田 幹夫	相模原市自治会連合会(中央区)	欠席	
3	もり いつお 森 逸雄	相模原市自治会連合会（南区）	出席	
4	おちあい ゆきお 落合 幸男	相模原市農業協同組合	出席	
5	おおの のりお 大野 則夫	相模原商工会議所	出席	副会長
6	はやし かよこ 林 加代子	特定非営利活動法人 男女共同参画さがみはら	出席	
7	たくち めぐみ 田口 めぐみ	さがみはら消費者の会	欠席	
8	わたなべ かずひろ 渡部 一浩	相模原の環境をよくする会	出席	
9	かわしま ゆみこ 川島 由美子	公益財団法人 神奈川県下水道公社	出席	
10	にしかわ まさし 西川 雅史	青山学院大学経済学部教授	出席	会 長
11	ひろた はるあき 広田 啓朗	武蔵大学経済学部教授	出席	
12	きし とおる 岸 徹	日本公認会計士協会神奈川県会	出席	
13	しのはら なおひこ 篠原 直彦	公募委員	出席	
14	すだ おさむ 須田 理	公募委員	出席	
15	もりや としひこ 守屋 俊彦	公募委員	出席	